

Asia Oceania News Wave

アジア・オセアニア ニュースウェーブ

第105号

2014年5月3日
～5月16日

今号の内容

株式市場

・一部を除いて堅調に推移

債券市場

・債券市場は全般に利回りが低下

為替市場

・アジア・オセアニア通貨はインド・ルピーが対円で上昇

各国の状況

アジア・オセアニア地域の状況

・アジオセ辞典／そこが知りたい／岡三アジオセ新聞



岡三アセットマネジメント



本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、投資家の皆様へのアジア・オセアニア地域の情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

株式市場

Equity

一部を除いて堅調に推移

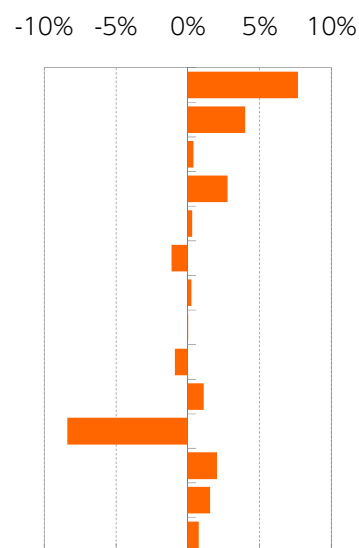
5月5日～5月16日のアジア・オセアニア地域の株式市場は、一部の市場を除いて堅調に推移しました。米国の株価指数が連日で過去最高値を更新したことを受けて、投資家の資金流入期待が強まりました。また、域内では、外需の回復を背景に輸出統計などの経済指標が市場予想を上回ったことが好感されました。

香港は、大手インターネット企業の1-3月期の好決算や、当局が不動産規制の緩和を示したことなどが好感され、IT株、不動産株主導で堅調に推移しました。インドネシアは、大統領選の最有力候補であるジョコ・ウィドド氏が同国第2党の支持を得たとの報道が好感され、ほぼ全面高となりました。一方で、ベトナムは、反中デモが激化し、一部の外資系工場が被害を受ける中、実体経済への影響が懸念されたことから、急落しました。

<各株式市場の株式指数の騰落率 (2014/5/16 現在) >

インデックス	5/16 現在	騰落率		
		5/2 比	3ヵ月前比	1年前比
インド・ムンバイSENSEX30種	24,121.74	7.7%	18.4%	19.1%
インドネシア・ジャカルタ総合	5,031.57	4.0%	11.6%	-0.9%
オーストラリア・S&P/ASX 200	5,479.04	0.4%	2.3%	6.1%
韓国・韓国総合	2,013.44	2.8%	3.8%	1.3%
シンガポール・ST	3,262.59	0.3%	7.4%	-5.5%
タイ・SET	1,405.26	-1.1%	7.1%	-13.1%
台湾・加権	8,888.45	0.2%	4.4%	5.9%
中国・上海総合	2,026.50	0.0%	-4.2%	-10.0%
ニュージーランド・NZSX 浮動株50	5,186.19	-0.9%	6.1%	11.9%
フィリピン・フィリピン総合	6,817.71	1.1%	11.5%	-6.7%
ベトナム・VN	529.49	-8.4%	-7.5%	8.0%
香港・ハンセン指数	22,712.91	2.0%	1.9%	-1.6%
香港・ハンセン中国企業株 (H株)	9,955.35	1.6%	0.2%	-9.7%
マレーシア・FTSEマレーシアKLCI	1,883.34	0.8%	3.5%	6.6%

<5/2 比の騰落率>



債券市場

Bond

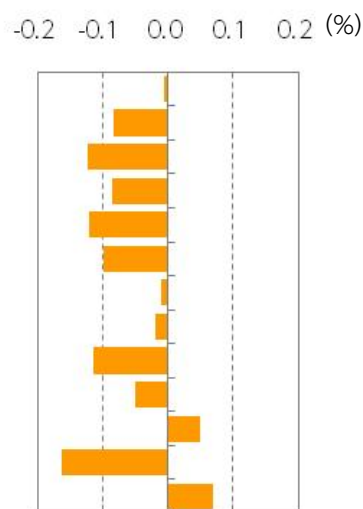
債券市場は全般に利回りが低下

5月5日～5月16日のアジア・オセアニア地域の債券市場は、欧米主要国の金利が大幅に低下した影響を受けて、全般に利回りが低下（価格は上昇）しました。ただ、マレーシアでは、中央銀行が家計債務の増加など経済・金融の不均衡に対する警戒感を示し、今後は現在採用している緩和的な政策の修正を迫られる可能性を示唆したことから、利回りがやや上昇（価格は下落）しました。

<各国債券市場の5年債利回りの変化幅 (2014/5/16 現在) >

発行国	利回り (%)	変化幅		
		5/2 比	3ヵ月前比	1年前比
インド	8.79	-0.01	-0.17	1.51
インドネシア	7.56	-0.08	-0.36	2.62
オーストラリア	3.16	-0.12	-0.25	0.41
韓国	3.07	-0.09	-0.07	0.42
シンガポール	1.28	-0.12	-0.10	0.78
タイ	2.99	-0.10	-0.26	0.03
台湾	1.02	-0.01	-0.04	0.09
中国	4.05	-0.02	-0.13	0.93
ニュージーランド	3.98	-0.12	-0.11	1.16
フィリピン	3.96	-0.05	-0.25	1.21
ベトナム	7.20	0.05	-1.05	-1.30
香港	1.22	-0.16	-0.04	0.75
マレーシア	3.66	0.07	-0.03	0.62

<5/2 比の変化幅>



為替市場

Currency

アジア・オセアニア通貨はインド・ルピーが対円で上昇

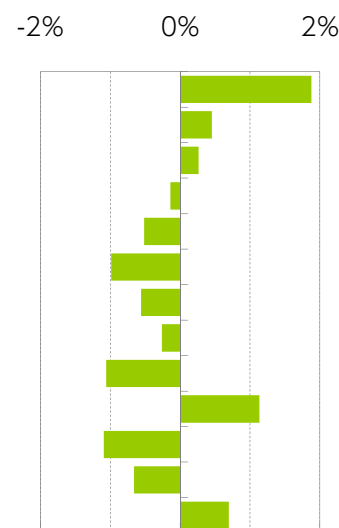
5月5日～5月16日の為替市場は、インドの総選挙でインド人民党（BJP）が圧勝し、安定政権の樹立と今後の経済政策への期待が高まったことなどから、インド・ルピーが対円で上昇しました。一方、ベトナム・ドン、南シナ海の領有権を巡る中国との対立が警戒され、対円で軟調な動きとなりました。

<各為替レート（対円）の騰落率（2014/5/16 現在）>

国・通貨	対円レート	騰落率		
		5/2 比	3ヵ月前比	1年前比
インド・ルピー	1.73	1.9%	5.3%	-7.1%
インドネシア・ルピア	0.89	0.5%	3.3%	-15.3%
オーストラリア・ドル	95.04	0.3%	3.4%	-5.3%
韓国・ウォン	9.91	-0.1%	3.5%	8.3%
シンガポール・ドル	81.12	-0.5%	0.4%	-0.7%
タイ・バーツ	3.12	-1.0%	-0.8%	-9.3%
台湾・ドル	3.37	-0.6%	0.0%	-1.3%
中国・人民元	16.28	-0.3%	-3.0%	-2.1%
ニュージーランド・ドル	87.56	-1.1%	2.7%	4.8%
フィリピン・ペソ	2.32	1.1%	2.0%	-6.5%
ベトナム・ドン	48.00	-1.1%	-0.6%	-1.8%
香港・ドル	13.10	-0.7%	-0.2%	-0.6%
マレーシア・リンギット	31.50	0.7%	1.8%	-7.2%

※インドネシア・ルピア、韓国・ウォンは100倍、ベトナム・ドンは10,000倍して表示。

<5/2 比の騰落率>



各国の状況

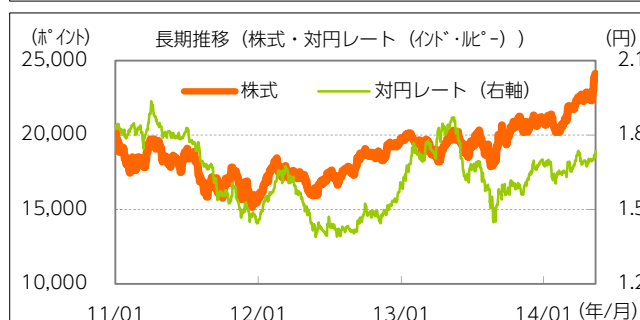
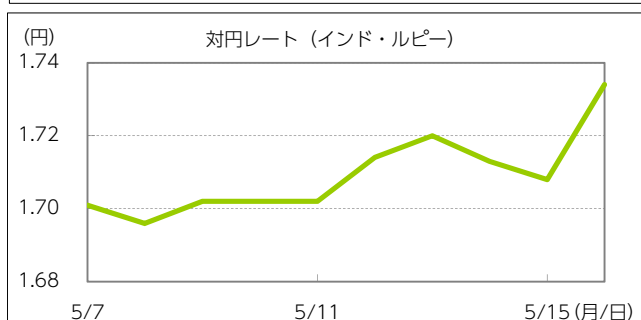
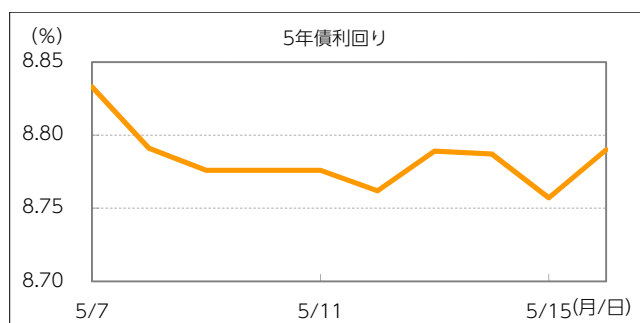
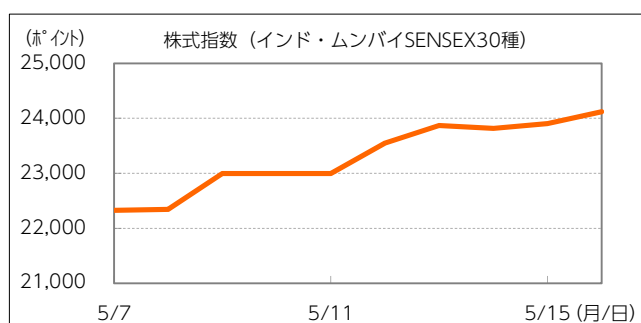
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

インド

India



インド総選挙（下院議会、定数545）の開票が16日に始まり、ナレンドラ・モディ氏の最大野党・インド人民党（BJP）が圧勝することになった。これをうけて、ムンバイSENSEX指数は続伸し、一時（前日比）6.14%の急騰を見せ、日中に初の25,000台に乗せた。



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。
本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

各国の状況

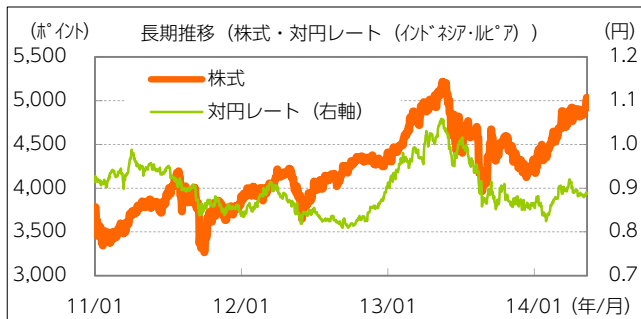
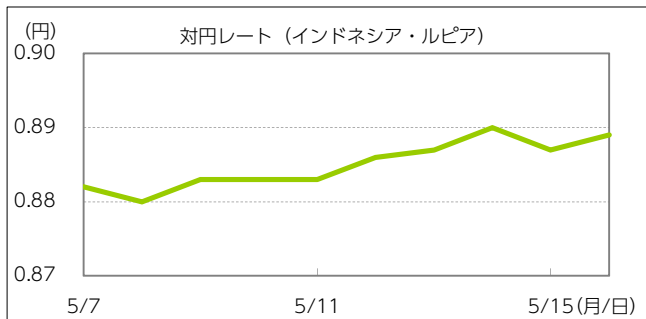
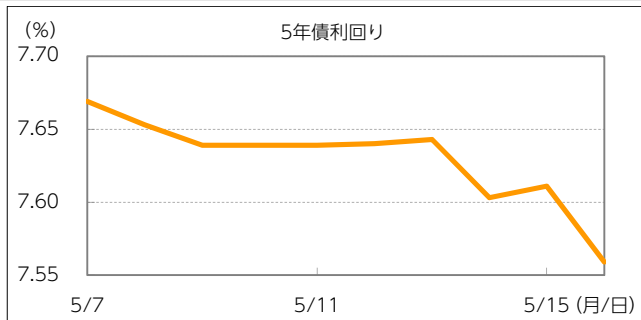
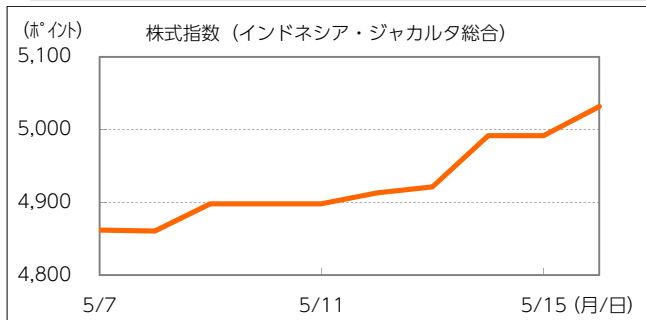
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

インドネシア

Indonesia



同国選挙管理委員会は4月9日に投開票された総選挙の公式集計を発表。最大野党の闘争民主党が得票率19%で首位。総選挙で25%以上の票か20%以上の議席を得た政党もしくは政党連合が大統領選挙に正副大統領候補を擁立できる。支持率抜群のジャカルタ州知事ジョコ・ウィドド氏を大統領候補に据える闘争民主党は、国民民主党（得票率7%）との連立を決定済みで、立候補要件を満たした。今後は連立の拡大と副大統領候補の人選が焦点となる。



※インドネシア・ルピアは100倍して表示

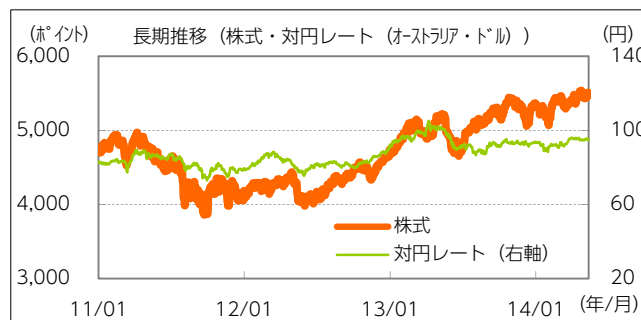
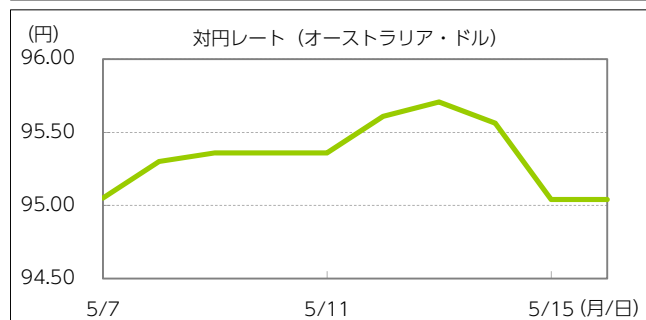
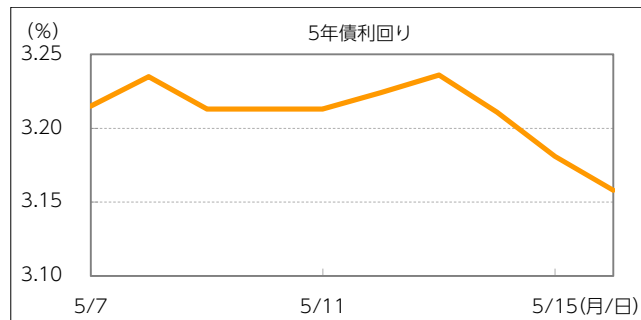
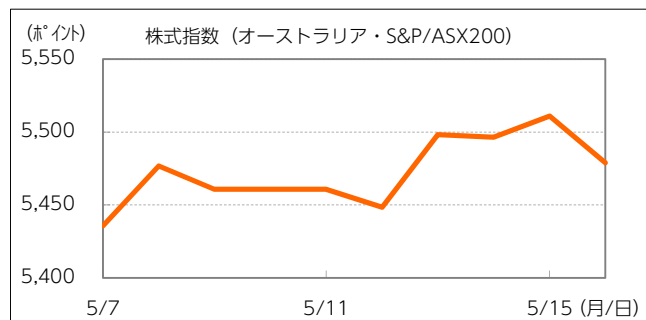
※インドネシア・ルピアは100倍して表示

オーストラリア

Australia



同国政府は13日、2014年度の政府予算案を発表した。予算案によると、2014年度は298億豪ドルの赤字になり、今後4年間の赤字の合計は計600億豪ドルに膨らむ見通し。前労働党政権による豊満運営で膨張する財政赤字に歯止めをかけるため、大規模な支出削減を通じ、2024年度にGDPの1%超の財政黒字化を図るとの目標を示した。



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

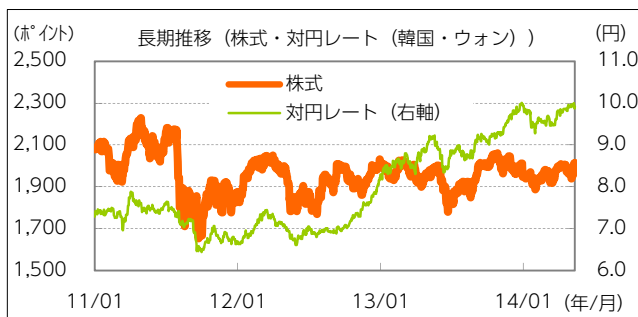
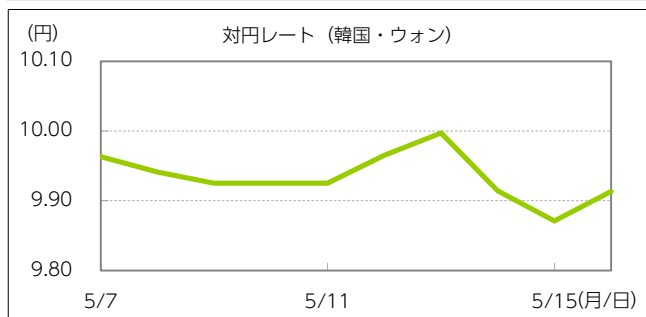
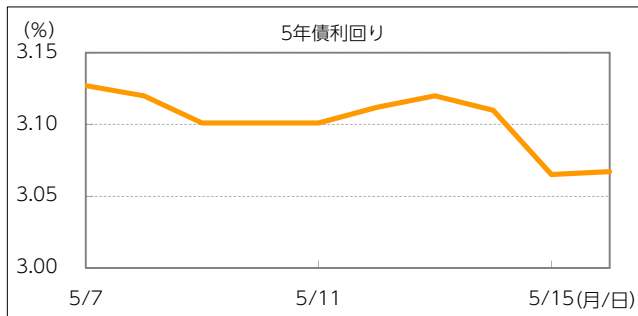
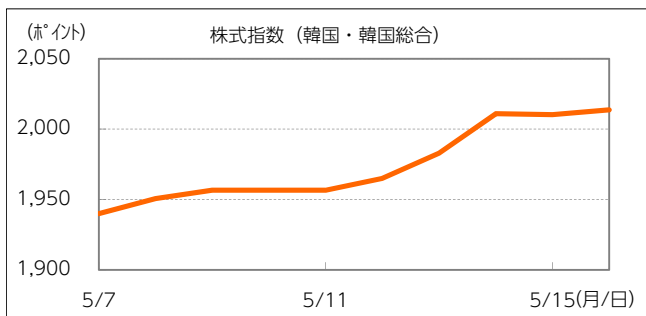
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

韓国

Korea



同国中央銀行は9日、市場の予想通り政策金利を2.50%に据え置いた。据え置きは12カ月連続で、第3・四半期にも利上げが予想されているが、中銀は声明で「国内景気は拡大基調を維持すると予想しているが、主要国の金融政策の変更などのリスク要因を注意深く見守る」と述べている。



※韓国・ウォンは100倍して表示

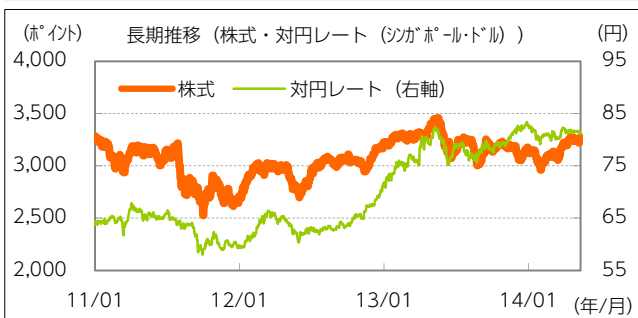
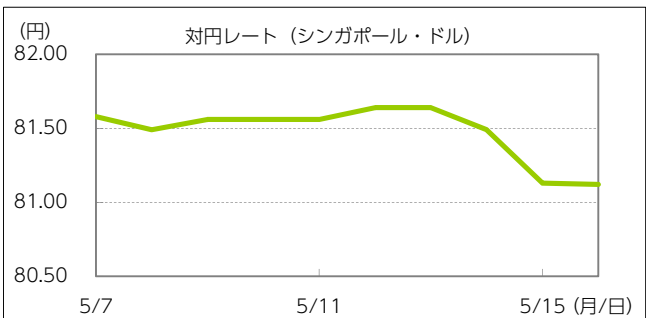
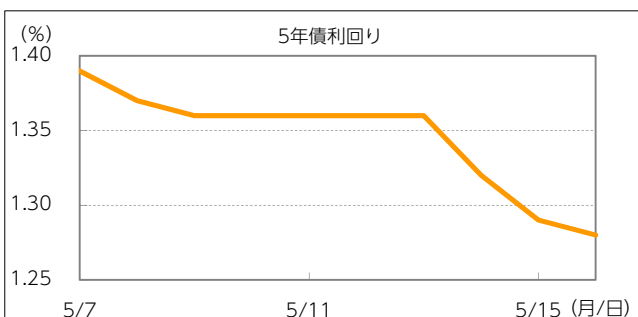
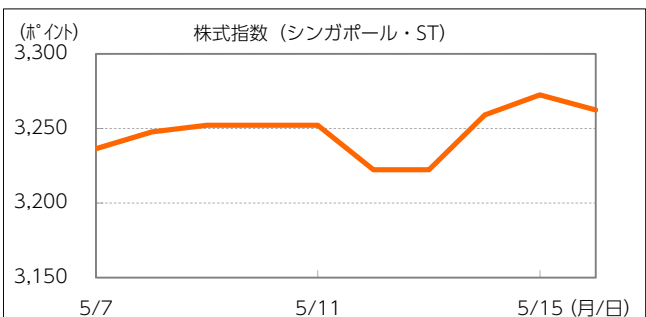
※韓国・ウォンは100倍して表示

シンガポール

Singapore



4月の購買担当者指数 (PMI) は51.1で、前月より0.3ポイント改善した。改善と悪化の分岐点である、50以上となったのは4カ月連続。新規受注高、新規輸出受注高、生産高、完成品在庫の増加がPMIの改善につながった。



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

各国の状況

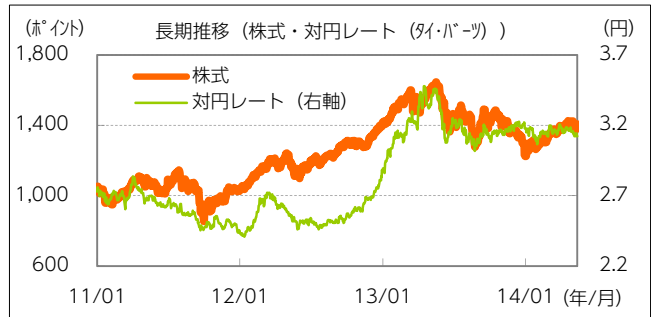
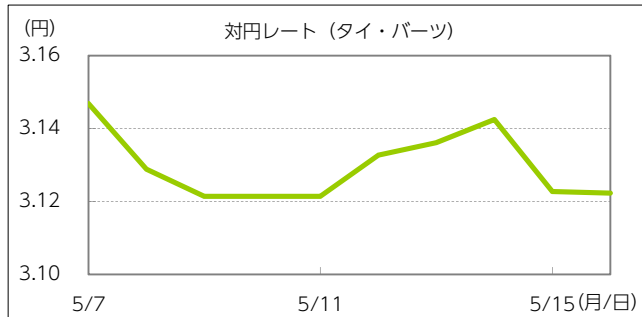
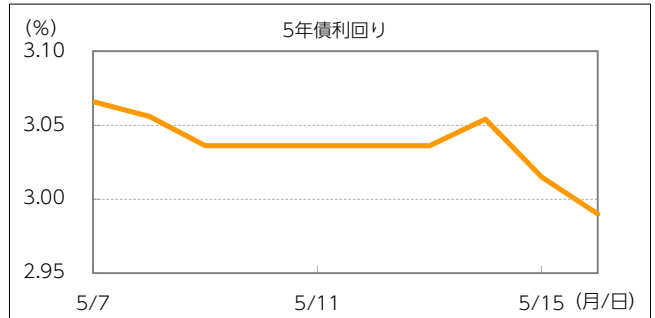
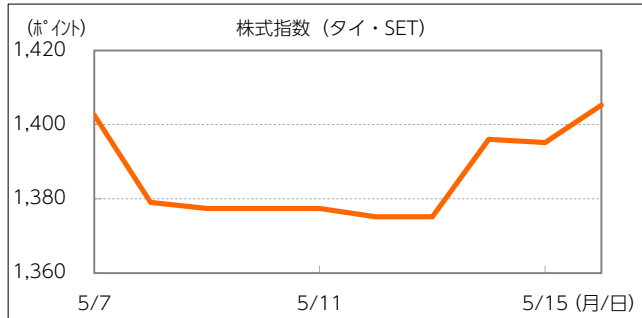
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

タイ

Thailand



タイ商工会議所大学（UTCC）が発表した4月の消費者信頼感指数は67.8 となり、3月の68.8から低下、2001年11月以降最低の水準を記録した。13カ月連続低下し、長引く政情不安による景気への悪影響が浮き彫りとなった。

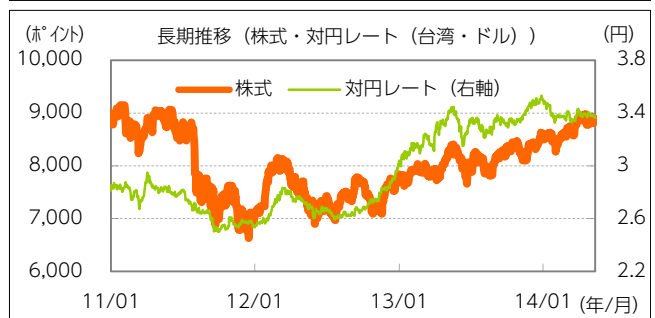
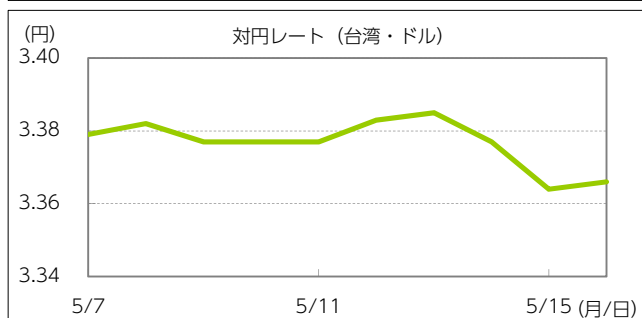
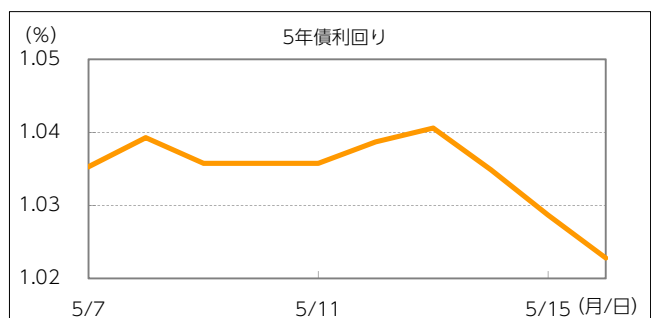
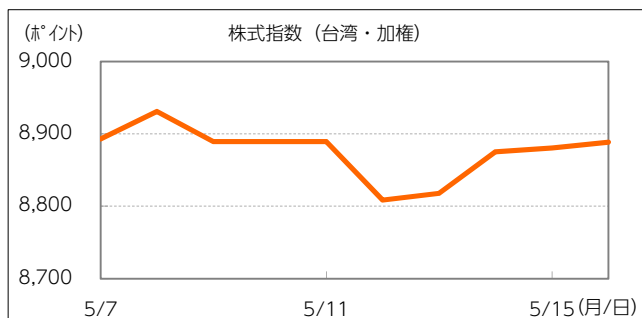


台湾

Taiwan



7日、同国財政部によると、4月の輸出は前年比6.2%増加し、3月の2%増から加速した。なかでも、台湾の主要輸出品であるハイテク製品の輸出額は81億6,000万米ドルに達し、過去最高を記録した。



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。
本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

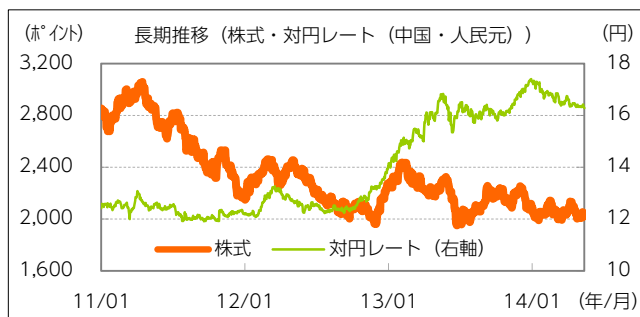
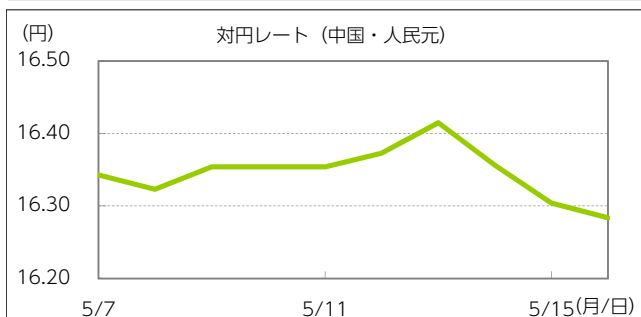
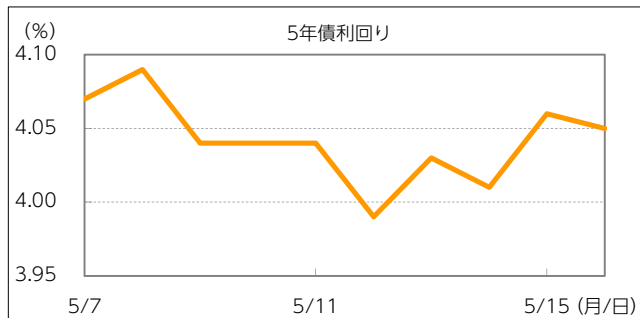
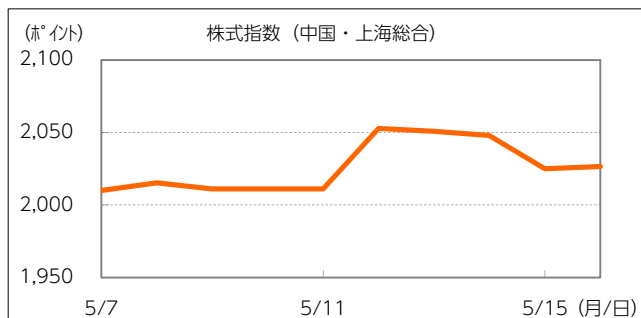
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

中国

China



同国国務院は9日、一連の資本市場改革を推進する方針を示した。より効率的な資本配分を促進するとともに、海外投資を拡大させ、市場の透明性向上を目指す。声明の中で、地方政府による債券発行、新規株式公開（IPO）認可制度の合理化、金融デリバティブ利用規制の一部撤廃に取り組むとした。

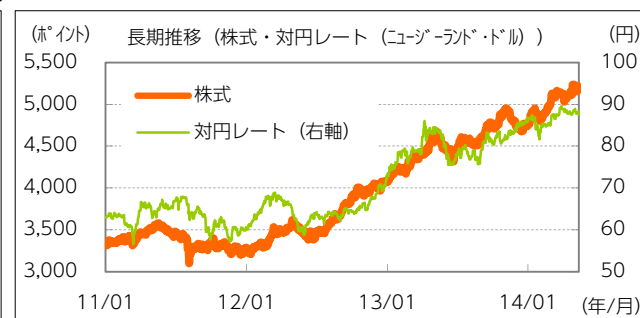
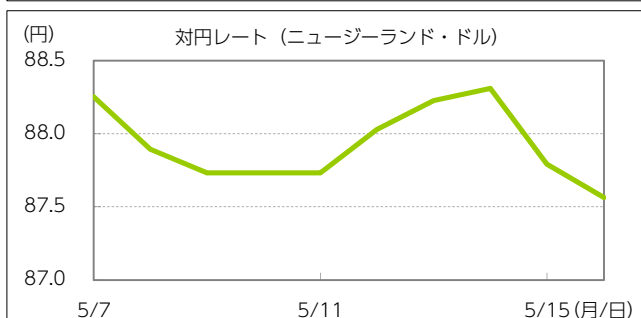
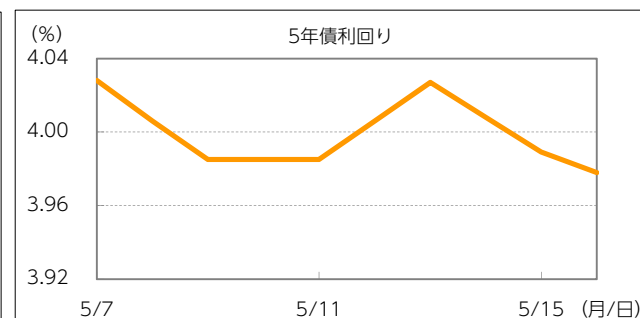
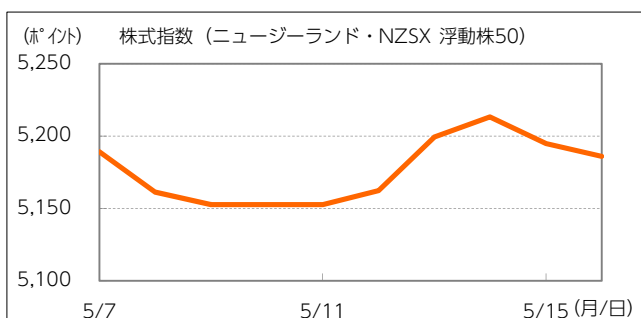


ニュージーランド

New Zealand



公式統計によると、第1・四半期の小売売上高は、物価変動の影響を除く季節調整済みで前期比0.7%増加し、前期の1.4%増（改定値）から鈍化した。低価格帯の電化製品やハードウェア、ガーデニング用品の販売が増加し、レストランやバーでの消費も増えた一方、スーパーマーケットなどでの生鮮食品や、家具、通信販売の支出が減少した。



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

各国の状況

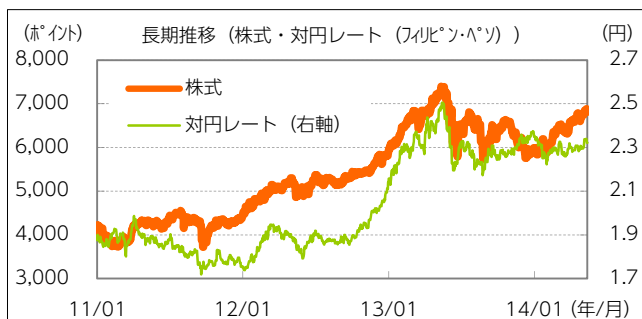
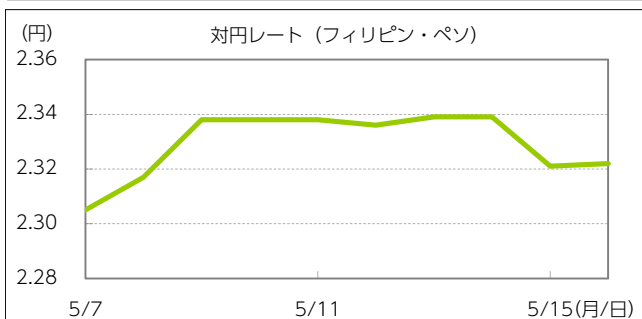
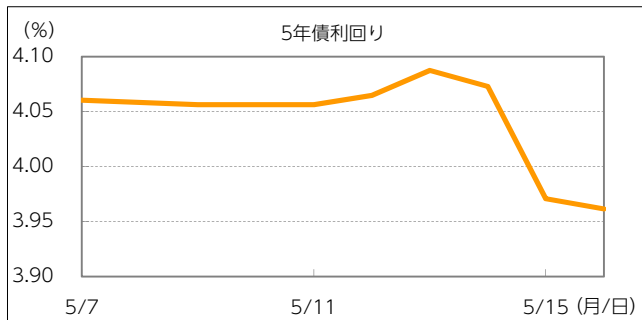
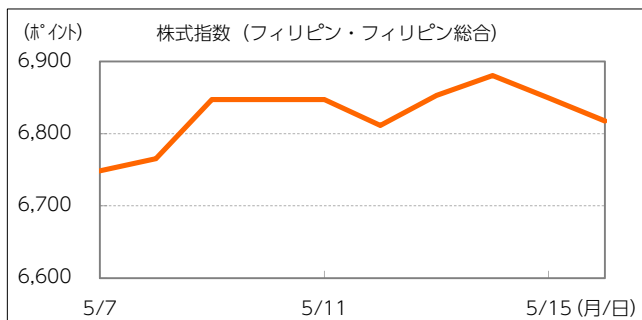
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

フィリピン

Philippines



同国中央銀行は8日、政策金利の翌日物借入金利を過去最低水準の3.50%に据え置いた。据え置きは12カ月連続。一方、預金準備率は1%引き上げた。また、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)は同日、フィリピンの格付けを「BBB」に引き上げ、見通しは「安定的」とした。

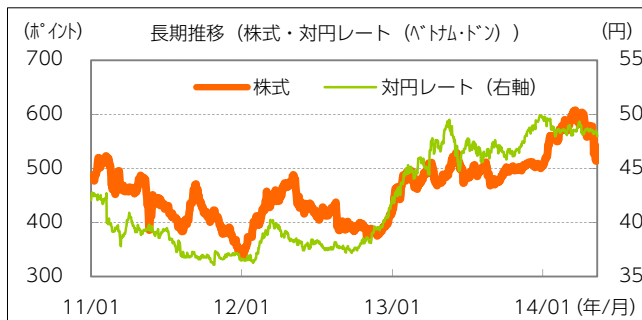
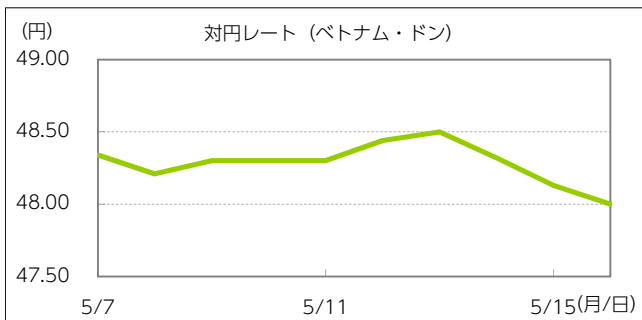
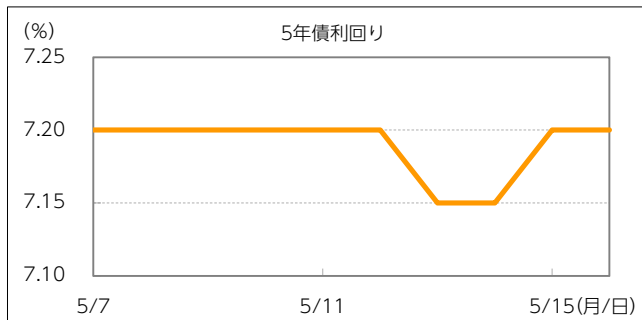
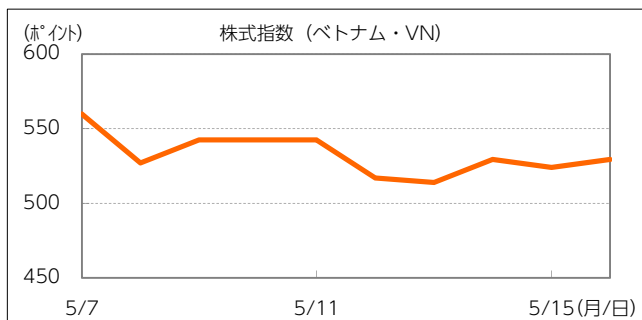


ベトナム

Vietnam



8日のベトナムネットが報じた米ニールセンの報告書によると、2014年第1・四半期の消費者信頼感指数は99%となった。この数字は2011年第4・四半期以来の最高レベル。国民が国の経済状況に楽観的になっている事を示しているが、数字は依然として100%以下で将来に対する懸念が存在している。



※ベトナム・ドンは10,000倍して表示

※ベトナム・ドンは10,000倍して表示

市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

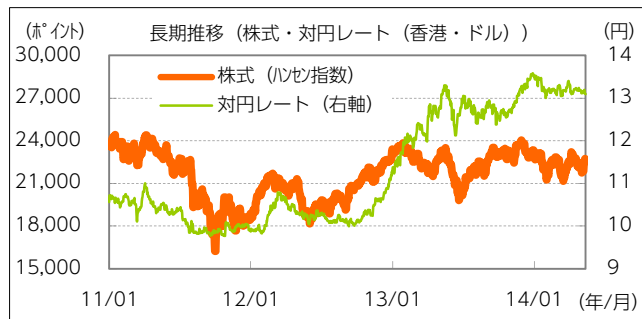
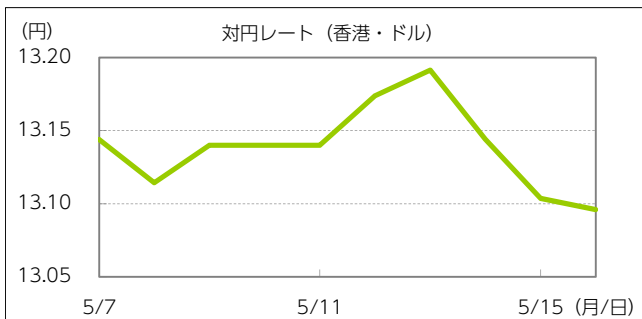
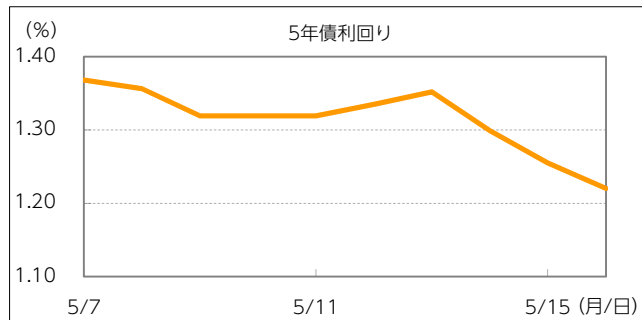
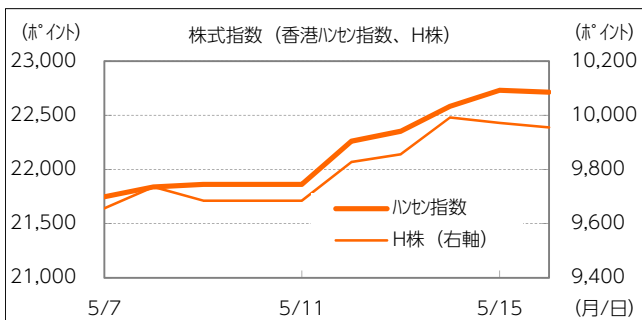
※株式指数、5年債利回り、対円レートグラフは2014年5月7日～5月16日までの期間。※長期推移グラフの期間は2011年1月4日～2014年5月16日まで。※取引市場が休場の場合は前営業日の値を用いて表示しています。

香港

Hong Kong



13日同国政府は、2013年2月に不動産取引の印紙税の最高税率を2倍に引き上げた不動産価格抑制策について、一部緩和する方針を立法会（議会）で発表した。同国局長によれば、売り出した物件について税還付申請ができる6ヵ月間の算定基準日を「仮契約を交わした日」から「物件を引き渡した日」に変更するなどの措置を取る事になった。

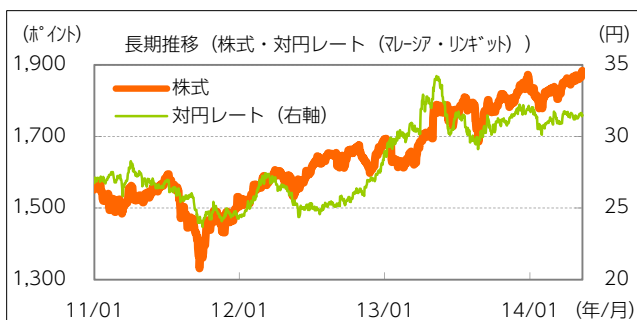
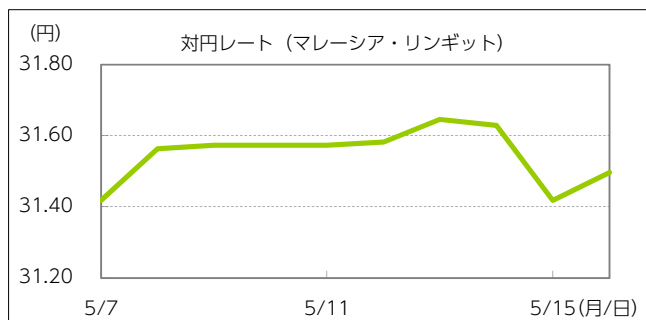
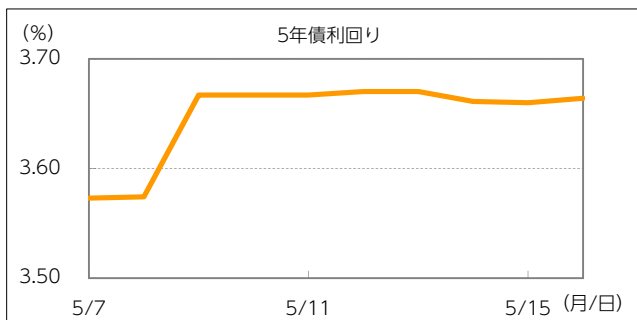
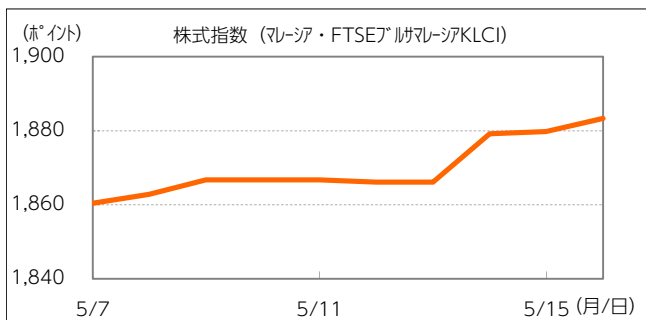


マレーシア

Malaysia



同国中銀は8日、政策金利を3.00%で据え置くことを決定し、主要国の段階的かつ秩序だった政策調整を経て、国際金融市場の状況は改善したとの見方を改めて示した。また金融政策委員会は、「経済成長は先行き、内需によって引き続き支えられ、改善した外部環境も追加的な支援要因になる。世界経済は今後も段階的の回復を続けると見られる。」との見解を示した。



市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果等を保証するものではありません。表紙の「本資料に関してご留意いただきたい事項」と巻末の「皆様の投資判断に関する留意事項」を必ずご覧下さい。本資料のデータ等は、Bloomberg、各種資料をもとに作成しております。

アジア・オセアニアのニュースがよく分かる

アジオセ辞典 今回のテーマは…フィリピンの選挙事情

【フィリピンの選挙事情】

フィリピンの大統領は国民による直接選挙で選ばれ、任期は6年間です。現大統領は、第11代大統領のコラソン・アキノ氏とベニグノ・アキノ・ジュニア元上院議員の子息である、ベニグノ・アキノ3世（第15代大統領）であり、2010年6月30日に就任しました。2016年6月29日に任期満了の予定です。

フィリピンの選挙は日本と比べるとかなり混沌としています。選挙ポスターを貼る場所が定められていないため、街中のあらゆる所にポスターが貼られています。街宣車は昼夜を問わずに走っており、時には暴力を使って相手候補の妨害を行うなど、かなりの緊張感が漂います。そこで、フィリピンの選挙管理委員会は過熱防止を目的に以下の禁止令を出しています。

- ①選挙前日：選挙運動、アルコール類の販売・提供・飲用、無料送迎・飲食、金品贈収
- ②選挙当日：（前日の禁止事項に加え）複数回投票や代理投票、投票所の半径30m以内での選挙活動や露店売買、市場、闘鶏、ボクシング、競馬等の開催

（出所）各種資料より岡三アセットマネジメント作成

気になるニュースをトコトン深読み
そこが知りたい！

S&P フィリピンの格付けを引き上げ ～経常黒字や、外貨準備の多さを評価～

米格付け会社大手のスタンダード・アンド・プアーズ（S&P）は5月8日、フィリピンの長期信用格付けを投資適格級の最下位にあたる「BBBマイナス」から1段階引き上げ、「BBB」にしたと発表しました。

フィリピンの格付けをこの水準に引き上げたのは大手格付け会社で初めてとなります。

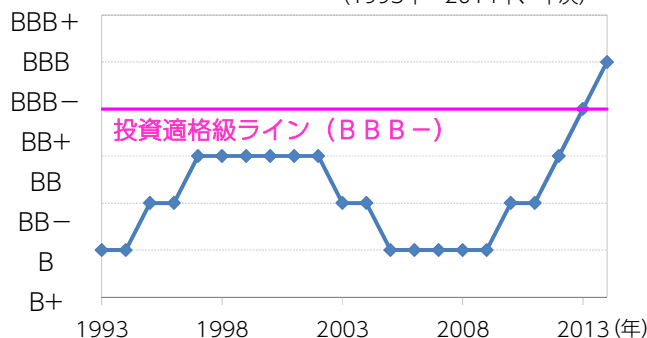
S&Pは2013年5月2日にフィリピンの長期信用格付けをそれまでの「BBプラス」から「BBBマイナス」へと引き上げています。この時、S&Pは引き上げの理由として対外収支の改善やインフレの鎮静化を挙げていました。また、海外で働く労働者（OFW：Overseas Filipino Workers）からの送金やコールセンターなどのサービス輸出産業に支えられ、経常黒字が継続していること、またアキノ大統領の改革路線も高く評価されました。

今回の更なる引き上げも、アキノ政権による財政再建策により財政収支が改善傾向にあること、また引き続きOFWからの送金が潤沢で経常黒字や外貨準備の多さが評価された結果です。

これからのフィリピン経済のリスクとして、2016年にアキノ大統領が任期満了を迎えることが挙げられていますが、S&Pは「現政権が進める多様な行政改革路線は、次の政権になっても継続するだろう」と指摘しており、今後も引き続き成長が続くとみえています。また、格付けの引き上げにより、資金の流入が続くとみられ、株価や為替への好影響が期待されます。

【S & P】フィリピン国債の格付けの推移

（1993年～2014年、年次）

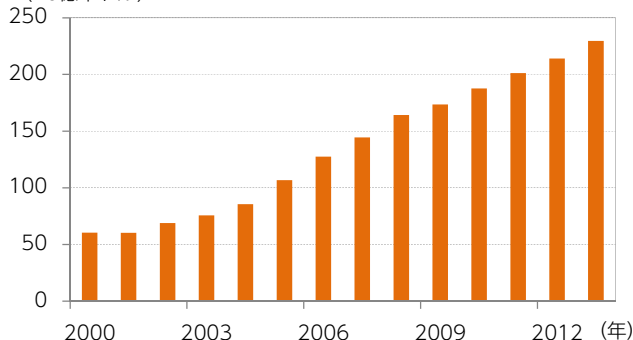


主要格付け会社のフィリピン長期債格付け一覧

	自国 通貨建て	外国 通貨建て	見通し	格付け 変更日
ムーディーズ	Baa3	Baa3	ポジティブ	2013/10/3
S&P	BBB	BBB	安定的	2014/5/8
フィッチ	BBB	BBB-	安定的	2013/3/27

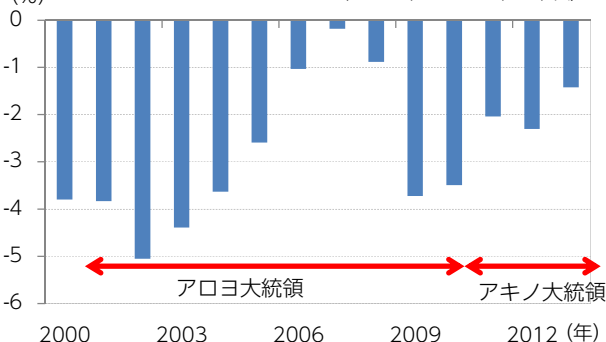
海外で働く労働者（OFW）からの送金額

（10億米ドル）（2000年～2013年、年次）



財政収支（対GDP比）の推移

（2000年～2013年、年次）



（出所）Bloomberg、各種資料より岡三アセットマネジメント作成

岡三アジアオセ新聞

2014年
5月20日
火曜日



知る人ぞ知る、名所！

ベトナム・スイティエン公園

アミューズメントパーク

世界には様々なアミューズメントパークがあります。

世界各地の観光情報をランキングで紹介するウェブサイトを「トラベラーズ・ゾーン」は「世界の有名なアミューズメントパーク十二選」を公表しています。その中には、年間来場者数が世界1位のマジック・キングダム（米国フロリダ州）や同3位の東京ディズニーランドなど、世界に名だたるアミューズメントパークが並んでいます。

アジアでは先述の東京ディズニーランドの他に、北京石景山遊楽園（中国）、香港海洋公園（香港）に加えて、ベトナムの「スイティエン公園」が選ばれています。

スイティエン公園

スイティエン公園は1995年に創設された公園で、観覧車やメリーゴラウンド、ジェットコースターなどのアトラクションのほか、プール、ワニ園、ミニ動物園、映画館などが併設された複合施設です。

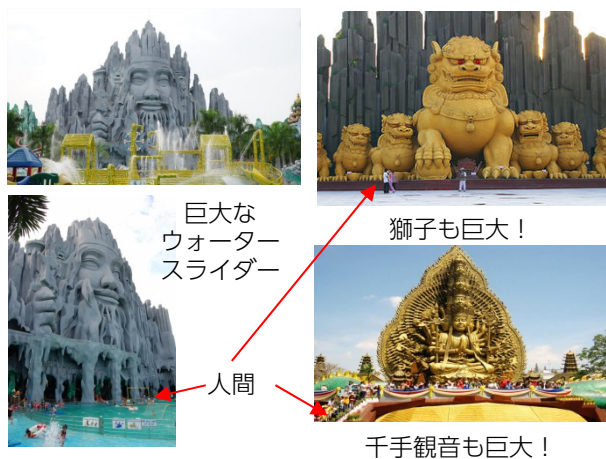
スイティエン公園はベトナムの歴史や神話、仏教がテーマになっており、それに関連した様々な施設やオブジェが作られています。

敷地面積は、東京ディズニーランドと東京ディズニーシーを合わせた面積よりも広く、1日では回りきれないほどのスケールです。

とにかく大きい！

しかし、驚くのは面積だけではなく、園内の施設やオブジェの大きさや奇抜さにも驚かされます。この公園の象徴といえば、ベトナムの伝説の初代国王ラック・ロン・クアンの顔が掘られた巨大ウォータースライダーです。高さは70メートルもあり、写真のように人間と比較すると圧巻の大きさです。

巨大オブジェはこれだけではありません。千手観音や獅子も大きく、かつ金色に輝いており、見るものを驚かせます。



巨大なウォータースライダー

獅子も巨大！

人間

千手観音も巨大！

その他の面白オブジェたち



色も形も独創的なものばかり！右のフェニックスは宮殿とのこと



高さ60mの観覧車からは園内が見渡せます。ジェットコースターも本格的です。高さ30m、距離1,200m、最高時速200kmでスリルを味わえます！



意味が分からないものもちらほら。

ワニとの綱引き対決！

スイティエン公園にはワニ園もあります。ただ、こちらのワニ園は日本のようにワニを見るだけではありません。「ワニ釣り」ができます。

ワニ釣りといっても、生肉を付けた釣り竿で餌をやる、というもののなのですが、ワニとの綱引きはなかなかできるものではありません。力自慢の方は是非チャレンジしてみたいはいかがでしょうか？もちろん、危なくなったら手を放しましょう。



大口を開けています

約250頭のワニがお待ちしています

（出所）各種資料等より岡三アセットマネジメント作成

岡三アセットマネジメントについて
 商号：岡三アセットマネジメント株式会社
 当社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。
 登録番号：関東財務局長（金商）第370号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に関するご質問は、フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせ下さい。

0120-048-214（営業日の9：00-17：00）

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の 下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■ お客様が購入時に直接的に負担する費用

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%（税抜3.5%）

■ お客様が換金時に直接的に負担する費用

換金時手数料：公社債投信 1万口当たり上限108円（税抜100円）

その他の投資信託にはありません

信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内

■ お客様が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担

：純資産総額×実質上限年率2.052%（税抜1.90%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×上限年率0.01296%（税抜0.012%）

※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。

※監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商 号：岡三アセットマネジメント株式会社

事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業

登 録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。